



横浜での起業・経営力アップに役立つ情報レター

# NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

IDEC  
YOKOHAMA

No.25

春  
2018

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23  
横浜メディア・ビジネスセンター7F  
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737  
<http://www.idec.or.jp>

## 最優秀賞は「トランクソリューションと健康社会への変革」 ～横浜ビジネスグランプリ2018ファイナル開催～

2月24日、「横浜ビジネスグランプリ2018」が開催され、正しい姿勢やコアマッスルを鍛え、歩行などの機能回復を促す装着機器「トランクソリューション®」を開発した、東大発ベンチャートランクソリューション(東京都文京区)が最優秀賞を受賞しました。

### 横浜ビジネスグランプリは20回目を迎える ビジネスプランコンテスト

今回は全国から一般部門114件、学生部門34件の合計148件の応募があり、書類審査・セミファイナルを経て10件(一般部門7件、学生部門3件)がファイナルに進出。専門家や経営者等のアドバイスを受けてプランのブラッシュアップを重ねてきました。当日は、8名の審査員と約260名の観客を前に、磨きかけたプレゼンテーションを披露。審査発表では、林経済局長(横浜市長代理)、IDEC横浜の牧野理事長から各受賞者に賞状が授与されました。

### 最優秀賞は全審査員が納得の高得点!!

最優秀賞を受賞したトランクソリューションのプランは「トランクソリューションと健康社会への変革」と題し、姿勢改善をビジネスの主軸として健康長寿社会を実現するというもの。また、優秀賞には、「音楽スタジオWEB予約プラットフォーム『スタジオル』(スタジオル(泉区)の山地氏)、女性起業家賞は、「がんに直面する女性のためのピアサポート・コミュニティ『Peer Ring』(リサ・サーナ(青葉区)の上田氏)が受賞しました。



「メンバーのみんなの努力でこの賞をいただけた」と語るトランクソリューションの勝平氏。

山地氏)、女性起業家賞は、「がんに直面する女性のためのピアサポート・コミュニティ『Peer Ring』(リサ・サーナ(青葉区)の上田氏)が受賞しました。



ファイナリストと関係者の記念撮影

### 【最優秀賞受賞者のコメント】

最初はロボット型やセンサーを活用した機器を考えたのですが、どうしても価格が高くなってしまいます。本当に使って欲しい人に届けるために、まずは価格を抑えた電子的制御機構を持たない機械を開発しました。たくさんの人に使ってもらうことで、「トランクソリューション®」はさらに良いものになると考えています。会長も社長も、一研究者である私に賛同し、脱サラして一緒に起業してくれました。会長・社長には感謝の気持ちでいっぱいです。弊社取締役で東京大学医学部附属病院特任教授の松平医師からも「簡単にできることでないと患者さんは使ってくれない」と教えてもらい、それを守って作ることができました。メンバー全員の努力でこの賞をいただけたことが本当に光栄です。

トランクソリューション  
URL: <https://trunk-sol.co.jp>

IDEC横浜は、グランプリに挑戦していただいたプラン実現のために、横浜の企業や大学、金融機関などと連携した支援を行っています。

平成30年度もプラン募集を行いますので、未来を拓く起業家の皆さま、ぜひ横浜ビジネスグランプリに注目してください。

■ Pick Up

# 第1回 横浜 新商品&新サービス合同記者発表会を開催!!

IDEC横浜は、1月23日、横浜情報文化センター1階のプラザにて市内中小企業10社による「第1回横浜新商品&新サービス合同記者発表会」を開催しました。

参加者は直前まで修正を重ねて作り上げた資料を基に、新聞記者や業界専門紙、金融機関等50名を超える方々の前で1社ずつ発表。その後、各社の商品やサービスの展示ブースでは、参加者の方々と順番に面談しながら、その商品の特長や使用方法を熱心に伝えていました。参加者からは、「プレスリリースの仕組みと流れが勉強できた」「来年もぜひ実施してほしい」などの声をいただいています。

## きっかけは、従来のセミナーでの限界

中小企業は大企業と異なり、社内に広報部門がない企業が多く、自社に合う広報の仕方を学ぶ機会も少ないことから、「プレスリリースの方法がわからない」と言う声が数多く寄せられていました。

これまで、主に書き方ポイントを学ぶセミナーを開催してきました。しかし、1回のセミナーでは、商品・サービスを生むきっかけ（ストーリー）や、想いが伝わるプレスリリース原稿の完成にはなかなか至りませんでした。

また中小企業で十分なマーケティング活動を行うには経営資源が不足しがちで、商品・サービスを伝えるべき顧客（ターゲット）に効果的に到達させることは容易ではありません。

そこで、プレスリリース・広報の専門家として、全国の支援拠点で活躍中のマジックマイスター・コーポレーションの大谷芳弘氏を講師役として、首都圏初の中小企業を対象とした伴走型広報支援を企画しました。

まず、9月に「記者が取材したくなるプレスリリース作成セミナー」を開催。50名の出席者の中から参加希望を募り、合同発表会と時期の合う10社を選定。事前対策セミナーと2回の個別指導など、IDEC横浜職員や専門家によるブラッシュアップを重ねて発表に至りました。

## 記者発表内容一覧

ジー・ナビゲーション	中華風手巻き寿司セット「華のしらべ」提供開始
岩井の胡麻油	「祝の胡麻油・胡麻ラー油セット」新発売
和糀	無添加「和糀酢-てまひま-」新発売
フルールドリス	「森のパンケーキシリーズ」新発売
エムアイストーリー	頭専用「ハンモックピロー®α」新発売
OKBコーディネート	「Making My Ownペンケース」DIYキット新発売
ソルブ	「THUASNE製 医療用 弾性ストッキング」発売
ワンスレッド	「パパ&ママ140人と考えた理想のパパバッグ」に「思いやりモデル」新登場
インターローカス	クラウドサービス「Let's」で手軽に自宅でカラーシュミレーション！ リリース開始予定
エナ・ストーン	高齢者生活みまもりサービス「ロボットこんしえるじゅ」発売



講師と発表者全員で記念撮影

## 広報は切り口を変えて継続すること

講師の大谷氏は、「広報のポイントは、消費者目線で価値を見つけ、マスコミ目線で広報をしていくこと。今回の講座でプレスリリースの知識を習得し、切り口を変えながら取り上げられるまで継続することが大切です。」と語ります。

## IDEC横浜も継続して支援します!

合同記者発表会の終了後、当日の様子や商品が新聞や地域メディアに取り上げられ、多方面から関心をいただきました。

IDEC横浜は、発表会の終了後、発表資料を整理した上で、テレビ局の番組担当者宛にお送りするとともに、定期的なフォローを実施しています。

今後も市内中小企業が独自でプレスリリースができるよう、引き続き支援を行います。



大勢の記者を前にドキドキの発表



発表後は展示ブースで商品の追加取材

## Pick Up

## 横浜知財みらい企業の支援を強化します!!

AIやIoT、ビッグデータなどの新しいテクノロジーが台頭する中で、知的財産活動を経営戦略の一部として捉え事業展開をしていくことは、中小企業にとっても益々重要な課題となっています。

こうした流れを受け、IDEC横浜では平成30年度から「横浜知財みらい企業」の本格的な支援事業を実施します。「横浜知財みらい企業」とは、市内企業で、知的財産活動を通じて経営基盤を強化し、未来に向けて成長を志向する企業を認定し、知的財産活動を通じた発展を支援する横浜市の制度です。

昨年度、IDEC横浜は、「横浜知財みらい企業」同士の交流会を実施してきました。今年度は、交流会に加え認定か

ら企業マッチングまでをコーディネート事業と一体となってIDEC横浜で実施し、支援の強化を図ります。また、横浜市では販促費用の助成や融資の優遇などの支援制度も引き続き実施します。ぜひこの事業を経営戦略にご活用ください。

皆さまの認定申請をお待ちしております。



横浜知財みらい企業の制度の詳細はこちら <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/tizai/mirai/> 問 技術支援担当 045-225-3733

## IDEC横浜 上海事務所レポート IDEC上海事務所を活用して最新の中国を体験してください

上海事務所 副所長 岩田 健

3月にIDEC上海事務所駐在の任期を終え、私が本レポートを担当するのは今回で最終回となりました。駐在の間、大変お世話になりありがとうございました。

この3年を振り返ると2015年には円安が進み、中国人観光客による「爆買い」が日本で話題になった一方、日本へ輸出する中国の工場は日系、中国系ともに厳しい経営環境でした。2017年には中国政府から打ち出された「新常态」、「一带一路」などのキーワードが話題になりました。

また、中国政府は「中国製造2025」と題し、量から質への転換を図り高付加価値製品を開発できる製造強国を目指しています。このような流れの中、最近では日本でも中国のイノベーションが話題になっています。私が上海で生活する間でも、新しいサービスが次々に登場しました。例えばアリババのスーパーマーケットや、シェア自転車などです。

アリババが投資するスーパー「盒馬鮮生」は、店舗で買った魚介類をその場で料理してもらうことができ、スマホアプリで注文するとわずか30分で自宅に届くというサービスが人気を集めています。また、当日に加工した精肉を店頭で並べるなど、新鮮さを維持できる品質管理も特長です。

「mobike」などの乗り捨て可能なシェア自転車は2016年のサービス開始から1年足らずで市内のいたるところに見ら

れ、生活に欠かせないサービスとなりました。これを実現しているのは、モバイル通信により自転車を開錠できるIoT技術と、利益が上がる以前の開発や製造を可能にしている潤沢な投資です。

横浜市と上海市は1973年に友好都市提携を行い、2017年に

はIDEC上海事務所の設置30周年を迎えました。IDEC上海事務所は、長年にわたり上海市政府や関連団体等との交流を続けており、一例として上海対外科学技術交流センターとは、横浜と上海との企業のマッチングを図るイベント等を共催しています。「横浜との産業技術交流を今後さらに発展させていきたい」と同センターの陶永輝副主任は交流の意義を実感されています。昨年はこのネットワークを活用し、IDEC横浜では中国の状況を視察するツアーを実施したほか、中国での展示会出展支援などを行いました。

中国では前述のような日本にないサービスが展開される一方、日本では当たり前となっている製品・サービスが手に入らないことも多くあります。

IDEC上海事務所は、3月5日に日本企業も多く集まる虹橋開発区の上海国際貿易



お気軽に日本語でご連絡ください

中心ビルに移転したことで、皆さまにお立ち寄りいただきやすくなりました。今の中国を体験いただくためにIDEC上海事務所をぜひご活用ください。



IDEC上海事務所  
 上海市長寧区延安西路2201号  
 上海国際貿易中心2108室  
 電話 (+86) (0)21-6841-5777 yokohama@idec-sh.com  
 地下鉄2号線「婁山関路」から徒歩13分  
 地下鉄10号線「伊犁路」から徒歩12分

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

■ 各種イベントのお知らせ

2018.4～6

IDEC  
YOKOHAMA

イベント名 / 会場	日程 / 時間
<p>平成29年度補正事業「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」 個別相談会 / 横浜市金沢産業振興センター 会議室</p> <p>IDEC横浜所属の相談員やコーディネーターが、「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」について個別相談対応します。(各社 20分 最大 24 コマ) ※事前予約制</p>	<p>4月3日(火) 15:00～17:00</p>
<p>Medtec Japan 2018 / 東京ビッグサイト 東4・5・6ホール</p> <p>横浜パビリオンを出展します。パビリオンでは、横浜企業が医療・健康福祉分野での応用が見込める各種部材や技術などを展示します。</p>	<p>4月18日(水)～20日(金) 10:00～17:00</p>
<p>はじめての海外展開セミナー・Ⅷ / 横浜シンポジウム</p> <p>これから海外展開戦略を検討する中小企業の皆さまを対象に、日本企業の海外事業展開の取組や、具体的な展開事例を紹介します。</p>	<p>4月20日(金) 14:00～16:30</p>
<p>起業チャレンジセミナー / IDEC大会議室</p> <p>経営者としての心構えや、創業前にどんなことを知り、調べ、考えておく必要があるのかについて解説します。 ※両日とも同じ内容です。</p>	<p>4月23日(月)、6月20日(水) 14:00～16:00</p>

その他多数のイベントを開催しています。詳細はウェブをご覧ください。

IDEC 横浜

検索

インキュベーション施設のご紹介 オフィスに！ラボに！

横浜金沢  
ハイテクセンター・テクノコア

- 余裕の広さ!  
・ 65㎡～126㎡、多様なスペース
- 研究・開発・連携に好立地!  
・ ウェット仕様、実験レベル「P2」対応



● アクセス

金沢シーサイドライン  
「産業振興センター駅」から徒歩1分  
首都高速湾岸線「幸浦ランプ」から2分  
横浜横須賀道路「並木IC」から4分  
金沢区福浦 1-1-1

詳細は、金沢センター TEL 045-788-9570 まで。



横浜新技術創造館  
リーディング ベンチャー プラザ

- 多様な広さ!  
・ 50㎡～100㎡、多様なスペース
- バイオ関連事業対応!  
・ 研究開発から製品開発まで対応可



● アクセス

JR 鶴見線「鶴見小野駅」から徒歩5分  
首都高速横羽線  
生麦インター・汐入インターから5分  
鶴見区末広町 1-1-40



詳細は、鶴見末広センター TEL 045-508-7450 まで。

入居者募集中

- 専門家の無料アドバイス!  
・ 経営相談・技術相談・海外展開等支援など

その他の施設の詳細は、IDEC横浜ホームページ<http://www.idec.or.jp>「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。  
詳細は、施設経営担当 TEL 045-225-3710まで。

編集  
後記

新年度がスタートしました。本紙も7年目に突入します。IDEC横浜は今年度、積極的な市内中小企業の課題の掘り起しと解決に向けて、企業訪問や地域相談会などの「地域密着型支援機能」を強化していきます。市内中小企業の身近な経営相談機関としての役割を果たしていけるよう、職員一同、組織の総合力をいかした支援に一層注力してまいります。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。